

(別添資料1)

事業所名

りらキッズスポーツ東片端

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

3月

1 日

法人（事業所）理念		安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ちながら様々な学びや、社会で生き抜く力を得るための糧となる多様な体験活動や外遊びの機会に接することができ、自己肯定感や自己有用感を高め身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態で成長し、子どもが本来持っている主体性や想像力を十分に発揮して社会で活躍していけるように支援していく事業所であること。											
支援方針		安心、安全、楽しい事業所であることを常に心がけています。 自分らしくいられる居場所の提供を考えています。 運動を中心に支援を展開し、常に向上心を持てるように支援していきます。											
営業時間		平日 学校休業日	10	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	各児童の身体に関する問題を所員全員がしっかり把握して、活動中の表情や様子を常日頃から細かく観察をしていく。 学校生活や自宅での様子を共有し日常生活を落ち着いた環境で過ごせるように助言していきます。日常生活におけるお金や時計、1日の計画など自ら管理できるように一緒に考えていきます。											
	運動・感覚	正しい姿勢保持を意識して活動できる時間が増えるように支援していきます。 集中する時間とリラックスする時間とのメリハリを習慣づけていきます。触れる、聞く、話す等感覚の特性を踏まえ感覚刺激を満たすように支援して行きます。又、危険性も意識できるように支援していきます。											
	認知・行動	自ら「やってみたい」「がんばりたい」等の気持ちが育てられるように関わっていきます。日常生活でのルールを学ぶための視覚的ツールの活用やパズルやカードゲームを通じた問題解決能力の強化に力を入れていきます。 感覚を十分働かせながらもボールを投げるなどの運動を行い、子どもの発達段階を見極め、興味の幅を広ながら全体の成長を促していきます。											
	言語 コミュニケーション	指導員との関わりの中から児童たちとのやり取りがスムーズにできるように学んでいきます。又、各自の発達に合わせ、様々な場面における周りの人たちとの相互作用を含めてコミュニケーション能力向上のための支援を行っています。各種の文字や記号、絵カードの機器などを使いコミュニケーション手段を適切に選択、活用し環境の理解と意志の伝達ができるように支援していきます。											
	人間関係 社会性	周りの人たちとの関係性を意識しながら良好な関係を築き信頼関係を基盤として周囲の人達と安定した関係を作っていくように支援していきます。運動や遊びを通じて周りの人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを支援して行きます。集団に参加するための手順やルールを理解して集団での遊びや活動に参加できるように支援していきます。又、感覚機能を使った、見た手遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して徐々に社会性の発達を支援して行きます。											
家族支援		家族の意向を受け止め、子どもと家族の安定した関係に配慮し、兄弟を含めた家族をトータルに支援していくことを通じて子どもの暮らしや育ちを支えていきます。						移行支援		移行する機関との具体的な話し合いや役割分担と協力関係の中で支援していきます。又、関係機関との情報共有を行い、退所後の生活を見据えた情報提供を保護者や本人に行っています。			
地域支援・地域連携		こどもの育ちや家庭の生活の支援に関わる地域の関係機関や他の放課後等デイサービス事業所地域の障害児支援の中核的な役割を担う児童発達支援センターとの連携を通じて子どものライフステージや家庭の状況に応じて切れ目のない一貫した支援を提供することにより子どもと家庭が包括的に支えられ、地域で安心して暮らすことができる基盤を作っていきます。						職員の質の向上		事業所内の事例研修や外部研修など。 療育、制度、5領域などに係る、読み合わせなどを実施しています。			
主な行事等		定期的に季節の行事（音楽祭、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会等）を実施しています。											

事業所名

りらキッズスポーツ東片端

支援プログラム (児童発達支援)

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ちながら様々な学びや、社会で生き抜く力を得るための糧となる多様な体験活動や外遊びの機会に接することができ、自己肯定感や自己有用感を高め身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態で成長し、子どもが本来持っている主体性や想像力を十分に発揮して社会で活躍していけるように支援していく事業所であること。											
支援方針		安心、安全、楽しい事業所であることを常に心がけています。 自分らしくいられる居場所の提供を考えています。 学習を中心に支援を展開し、常に向上心を持てるように支援していきます。											
営業時間		平日 学校休業日	10	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	身体に関するアセスメントを把握し、活動中の表情や様子を観察して配慮をしたサポートをしていきます。又、基本的な生活習慣(挨拶、衣服の着脱、排泄、その場での過ごし方など)身に着けられるように支援して行きます。又、自宅や事業所内外での安全な過ごし方をわかりやすく伝えていながら理解を促します。											
	運動・感覚	微細運動や粗大運動を通して体の使い方が向上するように支援していきます。正しい姿勢保持を意識しながら活動できる時間が増えるように支援していきます。 ボール投げや、紐結び等、指先の微細運動も組み入れていきます。又、子どもの感覚の特性や偏りを踏まえながら感覚刺激を満たせるような活動を行っていきます。											
	認知・行動	日常生活でのルールを学ぶための視覚的ツールの活用やパズルやカードゲームを通じた問題解決能力の強化に力を入れていきます。 短時間で集中できる活動（本の読み聞かせや工作など）も組入、感覚を十分働かせながらも物の扱いや仕組みなどの理解を促していけるように支援していきます。子どもの発達段階を見極め、興味の幅を広ながら全体の成長を促していきます。											
	言語 コミュニケーション	各自の発達に合わせ、指導員や同じ空間にいる児童とスムーズなやり取りができるように表情やその場にあった言葉を選んで関わっていけるように支援していきます。又、様々な場面における周りの人たちとの相互作用を含めてコミュニケーション能力向上のための支援を行っていきます。各種の文字や記号、絵カードの機器などを使いコミュニケーション手段を適切に選択、活用し環境の理解と意志の伝達ができるように支援していきます。											
	人間関係 社会性	指導員を介在して自分のできること、できないこと等自らの特徴を理解するとともに気持ちや情動の調整ができるように支援していきます。遊びなどを通じて周りの人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを支援して行きます。集団に参加するための手順やルールを理解して遊びや集団活動に参加できるように支援していきます。又、感覚機能を使った遊びから見た手遊びやつもり遊び、こっこ遊び等の象徴遊びを通して徐々に社会性の発達を促して行きます。											
家族支援		家族の意向を受け止め、子どもと家族の安定した関係に配慮し、兄弟を含めた家族をトータルに支援していくことを通じて子どもの暮らしや育ちを支えていきます。								移行支援		移行する機関との具体的な話し合いや役割分担と協力関係の中で支援して行きます。又、関係機関との情報共有を行い、個別支援計画の見直しを行っています。	
地域支援・地域連携		こどもの育ちや家庭の生活の支援に関わる地域の関係機関や他の放課後等デイサービス事業所地域の障害児支援の中核的な役割を担う児童発達支援センターとの連携を通じて子どものライフステージや家庭の状況に応じて切れ目のない貫いた支援を提供することにより子どもと家庭が包括的に支えられ、地域で安心して暮らすことができる基盤を作っていきます。								職員の質の向上		事業所内の事例研修や外部研修など。 療育、制度、5領域などに係る。読み合わせなどを実施しています。	
主な行事等		定期的に季節の行事（音楽祭、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会等）を実施しています。											